

東京瓦斯電氣工業株式會社

紡績部工場へイサに就いて

全労働者諸君!!!
資本主義の社曾は常に横暴慘虐である。
今や此の前のには恐る可き彼等資本級の魔の手が延びつゝある。それは府下森に大なる工場を有する、瓦斯電氣工業株式會社が取つた、紡績部工場閉鎖に就いて全従業員に示した驚く可き冷酷無慘なる功做である。

何等の暴虐突如會社側工場を閉鎖す

九月十八日午後二時真に突如として、瓦斯電氣重役道機部長榮國啓七氏は紡績部従業員を集めて曰く「當紡績部は事業不振と主なる理由として工場閉鎖を断行するの止むなきに至つた事を告げやう」として、直ちに全従業員五十八名の總辭職を發表したのである。この始と終に、の如き言ひ渡しに對し紡績部従業員は、即時京濱労働本部にて對策を協議し、種々論議の上會社側の示す再理山を、産と認め、あくまでも職の要求をなすべく満場一致決議した。そして京濱労働技及會本部に右の決意をもちまして徹底的援助を乞ふたのである。

紡績部従業員不當解雇を拒絶す

九月廿日紡績部代表八名は會社側重役榮國氏に會ひ、前日の事業不振による不當解雇を否認し、

「日本に於ける紡績事業は現に夜業禁止其の他の理由に依り、紡績機械の製作は尙相當に來有望なる事」

「會社は、今後工場閉鎖の後も紡績機械製作の準備を持つて居る事」

「會社は現に、會社全体として不況にあらず、工機部其の他に技工を雇入れして居る事」

機械

電氣

事件

會